**第47回身心変容技法研究会**

2016年4月15日（金）上智大学四谷キャンパスL号館（中央図書館）9階会議室

発表②藤田一照（曹洞宗国際禅センター所長）「仏教と霊的暴力とその乗り越え」

１.コンテクスト

鎌田さんの問題意識　科研関連の文章から

霊的暴力…超越的な世界観に裏付けられた破壊性

「身心変容技法」が引き起こし得る負の局面の危険性や問題性の解明

　オウム真理教事件（一九九五年）が問いかけた問題性や事件性

「霊的暴力（Spiritual Violence）」とは、「目に見えない霊的（spiritual）なモノ」の存在（spiritual being）や力(Spiritual Power)による、さまざまなレベルでの圧迫や抑圧や破壊を指す。「目に見えないモノ」の力を使って（たとえそれが幻想やイル―ジョンであっても）、人を傷つけ、壊し、支配する恐るべき事態の出来である。それにはどのような形・状態があり、それにどう対処すればよいのか、にアプローチしていく。

　呪い　霊的虐待（spiritual abuse）その他の事例

　宗教の名のもとになされる暴力的行為　e.g. 保守的原理主義的キリスト教者のＬＧＢＴの人々への暴力的言動

２．仏教の修行と霊的暴力

　身心変容　　凡夫的あり方から仏的あり方へという変容の道　成仏

「行道の宗教」としての仏教

　「変容させる」か「変容する」か？　起こすのか起きるのか？　　強制か自発か？

　a. 個人的体験から

　　　アメリカの禅センターでの朧八接心中の独参

「あなたが憎くてやっているのではないのです。これしか方法がないのです…」

　　臨済禅と曹洞禅の家風の違い　　「冬暖夏涼」

「達人禅」と「宗教としての禅」（内山興正老師の表現）

　　　「つもり」という目安をつけるとその「つもり」に向かって修行する人たちにいろいろな段階、階級ができる　　落ちこぼれができる

　　　　修行の「厳しさ」を自慢する　「修行競争」

　　必要悪的な教育手段としての暴力？　騒がしい生徒を黙らせるためにどなる

　　　「払拳棒喝を挙するの証契」一見暴力的に見える接化（せっけ）の手段

　　　　思慮分別のとらわれを破るため　　「バカになれ！」

　b.釈尊の瞑想・苦行とその乗り越えをどう見るか　仏教の原点

　　　樹下の打坐の前と後　　何がシフトしたのか？　修行の態度そのものの転換

コントロール・拘束・強制モードから受容・自由・自発モードへ

　　聖と俗、霊と肉、浄と穢、…の二元論（思考の産物）から出発する修行の危険性

　　　始めから暴力的なものが胚胎していないか？

ネガティブなものを排除、殲滅する作業が修行か？

　　　Thoughts are enemies 「肉の思い」か「生命の自然」か？

 自己満足的自我の暴走、ナルシシズム、独善、自己陶酔

　　　理想主義、熱狂主義、ファナティック　「安楽への全体主義」（藤田省三　未知の、潜在的に脅威をもたらすような経験を回避しようとする現代日本社会の心性、「安楽への自発的隷属」）

　　　task-oriented, task-centeredな努力の陥穽

八正道が正見（正しいヴィジョン）、正思（正しい決意）から始まっていること

　発心正しからざれば万行空しく通ず　　慧→戒→定→慧→…

　　暴力の根としての自他の区別？

　吾我の虚構（本来は無い境界線を引くこと　分離・分断）に基づく身・口・意の三業の発動メカニズムを洞察・抑制し、本来の繋がりの実現、発現として三業を活かす

　c. 修行の二つのパラダイム

テクネーとポイエーシス　強為（ごうい）と云為（うんい）坐禅と習禅（しゅうぜん）

　　坐禅のやり方　調身・調息・調心　調のパラダイム

理想の姿勢、息の仕方、心の状態を「命令＆コントロール」によって他律的に達成さ

せる

身・息・心を対象とする「吾我（分離したわたし　自我意識）」の一方的操作は暴力的？

近代理性主義　「正義」の押しつけ、従わないものは「悪」　「悪」は退治しなくて

はならない　「あるべきこと」と「あってはならないこと」が始めから権威主義的に設定されている　向こうの言い分を聞く耳は持たない

聞く耳を持つことから始まる調　「今起きていること」を「あるがままに」感じるところから生まれてくる変化にしたがう　「感じて＆許す」

「身も心もはなちわすれて、仏の家に投げ入れて、仏の方よりおこなわれて、それにしたがいもてゆくとき、力をも入れず、心をも費やさずして…」

主体は仏＝大自然の働き　仏が呼吸し、仏が歩む　（ティク・ナット・ハン）

「自己をはこびて万法を修証するを迷いとす、万法すすみて自己を修証するはさとりなり」（道元）「生かされて生きている自己」縁起的自己

暴力を生み出す素地になる、それ自身は暴力的には見えないもの？

　仏教で言う「無明」　キリスト教で言う「原罪」に当たるもの

　サタン　悪魔　魔　マーラ

　煩悩　三毒　五蓋（貪欲・瞋恚（しんに）・惛沈睡眠（こんちんすいみん） ・

掉挙悪作（じょうこおさ） ・疑（ぎ） ）

ブッダの降魔成道　成道後の魔との対話　魔が無くなるわけではなく魔とのつきあい方が変わる　不放逸（ケア）